

ながおか

建設だより

第81号

平成28年 8月 1日発行



一般社団法人
長岡市建設業協会

長岡市三和3丁目8番地
TEL 0258(32)3206代
sikyokai@nct9.ne.jp

編集 総務委員会
印刷所 北越印刷株式会社



(株)星野組
山崎尚英さん



高正建設(株)
渡辺有哉さん



(株)伊藤建設
齋藤凌太さん



中越道路(株)
間 直樹さん



(株)星野組
笠井義孝さん



中越道路(株)
増田京平さん



中越道路(株)
吉田修平さん



中越道路(株)
渋谷 晶さん

地域の安全と
安心を担う
建設業の
若い力！

〈写真撮影：総務委員会 田中祐紀彦 氏〉

平成二十八年度 定時総会を開催

平成二十八年四月二十七日、会員七十五名の出席を得て、平成二十八年度定時総会が「かも川別館」で開催されました。

定時総会では、平成二十七年年度の事業報告に続き、平成二十七年年度収支決算と平成二十八年度の事業計画並びに収支予算、特定財産の取り崩しについてそれぞれ承認されました。

また、任期満了となった役員の改選が行われ、現在役員の皆さんから引き続き担当していただくことで承認され、新しい事業年度がスタートしました。



協会創立70周年に当たり 建設業の魅力向上に取り組みます

星 野 光 雄 会 長

担い手三法の本格的な運用が開始され、長岡市におきましても、平成27年度から新しい基準に基づいた入札制度が施行されるなど、業界を取り巻く環境は大きく変化をしております。

これまでも、協会と致しましては、長岡市当局に対し、入札や契約制度の改善について強く要望を行ってまいりました。

そのなかで、長岡市技術職員との意見交換会や検討会などを通して、長岡市発注工事の施工上の問題点や設計変更などに対し、多くの項目で改善が進んでおります。

今後とも適正な予定価格の設定や設計変更、降雪時期を踏まえた発注と施工時期の平準化、協会のさらなる活用などについて、引き続き要望活動を行ってまいります。

ところで、今年度は協会創立70周年に当たることから、記念事業を実施し、協会員の結束と発展を目指してまいります。

さらに、建設業の魅力向上に向けて、様々な課題の解決と地域の活性化に積極的に取り組むとともに、建設業界への若者の入職促進を始めとした「担い手の確保と育成」にも、関連する諸団体と連携を図りながら取り組んでまいります。

これからも、社会資本の整備を通して社会の発展に貢献し、地域の安全と安心を担ってまいりたいと考えておりますので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業計画

担い手三法の本格的な運用が開始され、平成二十七年年度から新しい基準に基づいた入札制度が施行されるなど、建設業界を取り巻く環境は大きく変化しています。

これまで、長岡市との意見交換会や検討会などを通して、長岡市の発注工事施工上の問題点や課題などに対して多くの項目で改善が進んでいます。

新しい制度が運用されるなかで「予定価格の適正な設定」、「適切

な設計変更」、「繁忙時期と閑散時期や降雪を踏まえた発注や施工時期の平準化」など、引き続き要望活動を行います。

また、平成二十八年度は、協会創立七十周年に当たることから記念事業を実施します。

一 平成二十八年度四月一日から運用された「工事請負契約における設計変更ガイドライン」について研修会を開催し、制度の周知徹底を図ります。

さらに、関連する諸団体とも連携を図りながら長岡市に対し

会員の入会について

会 社 名	代 表 者 名	退 会 日
株式会社 テック 柏	川 上 一 夫	平成28年2月1日

会員の異動について（所長の変更）

会 社 名	変 更 前	変 更 後	変 更 日
東亜道路工業株式会社 中越営業所	浜 坂 隆	外山 源三郎	平成28年4月1日
日本道路株式会社 長岡営業所	橋 本 武 夫	斎 藤 敏 明	平成28年4月1日

会員の退会について

会 社 名	代 表 者 名	退 会 日
有限会社 内 藤 建 設	内 藤 常 治	平成28年5月20日

会員数（平成28年8月1日現在）82社（正会員71社、準会員11社）

協会のさらなる活用と入札制度の適正化について要望します。

二 協会は地域の安全と安心を担い、地域の活性化に貢献するため、公益目的事業計画に盛り込まれた次の事業を積極的に展開します。

- ① 災害時の応急復旧と復旧支援事業に迅速に取り組みとともに、道路等の除雪、要援護世帯の屋根雪下ろし制度等に積極的に協力します。
- ② 建設関係の講演会やセミナーを開催します。
- ③ 地域の祭りや行事における清掃活動等に参加し、環境美化に取り組みます。
- ④ 工事施工指導会や工事安全パトロールをはじめ、会員研修旅行、視察研修、技術検討会などを実施します。

- 三 入札や契約制度の改正、工事施工上の課題などに対応するため、研修や研究事業に積極的に取り組みます。
- 四 会員に対する情報提供を積極的に行うとともに、協会の活動状況や経営内容等について周知を図ります。

役員名簿

任期：平成30年度の定時総会まで

役 員	氏 名	会 社 名
会 代 表 理 事	星 野 光 雄	(株) 星 野 組
副 会 長 ・ 会 計 理 事	細 川 恭 一	(株) 中 越 興 業
理 事	田 尻 正 敏	(株) 曙 建 設
理 事	安 藤 清	(株) 安 藤 組
理 事	大 石 保 男	(株) 大 石 組
理 事	本 田 浩 太	共 榮 建 設 (株)
理 事	高 田 裕 司	(株) 山 崎 組
理 事	吉 原 正 之	吉 原 建 設 (株)
理 事	小 山 道 男	渡 長 建 設 (株)
監 事	小 川 浩 一	小 川 興 業 (株)
監 事	石 澤 雅 弘	三 信 興 業 (株)

役員改選

役員の任期が満了となることから改選が行われ、現在の役員の皆さんから引き続き協会の運営を担当していただくことで承認されました。

なお、現行の「役員選出規程」は、事務手続き等に不備が指摘されており、改正が必要となつていきます。

このため、ほかの団体の役員選出の現状を調査しながら、協会の



一定時総会終了後、来賓として磯田達伸長岡市副市長をお迎えして懇親会を開催し、賑やかな情報交換の場となりました。

賑やかに情報交換

運営に適した役員の選出方法について、引き続き理事会等で検討を進めます。

委員会の活動

任期満了に伴う総務委員会と技術委員会の委員についても、これまでの委員の皆さんから引き続き担当していただきます。なお、委員の任期は、平成二十八年五月六日から概ね二年間です。

平成二十八年度も総務委員会と技術委員会が中心となって、研修、親睦、社会貢献活動等の事業を積極的に展開しますので、皆さんの参加とご協力をよろしくお願いします。

主な活動の日程と内容

【全体】

月 日	項 目
4月27日	平成28年度定時総会
7月12日	協会創立70周年記念祝賀会
平成29年1月	新年会(新潟県建設業協会長岡支部と合同)

【総務委員会】

月 日	項 目
8月1日	「ながおか建設だより」第81号発行
10月3日から 10月5日	会員研修旅行(新潟県建設業協会長岡支部と合同)京都御所参観と世界文化遺産・国宝「姫路城」視察、大阪3日間
10月27日	会員親睦ゴルフ大会(長岡カントリー倶楽部)
平成29年1月15日	「ながおか建設だより」第82号発行
平成29年2月	建築セミナー
平成29年3月	建設産業セミナー
環境美化活動	
4月22日・25日	桜まつりの会場設営及び清掃(小国地域)
8月3日・4日	長岡まつり大花火大会の会場早朝清掃(長岡地域)
10月9日	こしじ秋まつりの会場清掃(越路地域)
平成29年2月5日	とちお遊雪まつりの会場設営(栃尾地域)
平成29年3月11日	古志の火まつりの会場後片付け(山古志地域)

【技術委員会】

月 日	項 目
8月23日	土木・建築工事施工指導会
8月23日	「工事請負契約における設計変更ガイドライン」研修会
9月	土木工事安全パトロール
11月	視察研修
未 定	長岡市技術職員(長岡市建設技術協会)との意見交換会
12月	建築工事安全パトロール

※ 日程と内容は決まり次第ご案内します。

建設業協会長岡支部と合同で、十月三日(月)から五日(水)まで「京都御所参観と世界文化遺産・国宝「姫路城」視察、大阪三日間」を予定しています。

環境美化活動は小国地域の「桜まつり」会場の設営と清掃活動に引き続き、長岡地域の「長岡まつり大花火大会」会場の早朝清掃活動に参加

総務委員会

総務委員会は、「ながおか建設だより」の発行をはじめ、会員研修旅行や会員親睦ゴルフ大会、各地域の環境美化活動、建築セミナー、建設産業セミナーなどを開催します。

特に、今年度は、協会創立七十年に当たることから記念事業を実施します。

また、会員研修旅行は、新潟県

します。

さらに、「担い手の確保と育成」が緊急の課題となっており、建設業の魅力向上と若年者の入職促進を始めとした対策に、関係する諸団体と連携を図りながら取り組みを進めます。

技術委員会

技術委員会は、土木・建築工事施工指導会をはじめ、平成二十八年四月一日から運用されている「工事請負契約における設計変更ガイドライン」の研修会を開催し、設計変更が円滑で適正に行われるように周知徹底を図ります。

また、土木工事及び建築工事の安全パトロールや視察研修のほか災害時の応援体制を確立するため「緊急連絡表」を作成します。

なお、長岡市技術職員との意見交換会については、内容を検討したうえで、開催するかどうか決定します。

さらに、総務委員会とともに、入札契約制度の改正や工事施工上の課題などに対応するため、研修と研究活動などに積極的に取り組みます。



長岡まつり 大花火大会 会場の早朝清掃 活動で感謝状



この感謝状は、長岡まつり大花火大会翌日の早朝に行われる花火会場の清掃ボランティア活動に、5年以上継続して参加している団体に対して贈られるものです。

6月27日(月)、アオーレ長岡東棟4階第一応接室で開催された贈呈式に、星野会長と細川副会長が出席し、森市長から感謝状が贈呈されました。

今年の早朝清掃活動にも、長岡地域の会員が8月3日(水)と4日(木)の両日で178名参加する予定です。

委員会のメンバー

総務委員会		
委員長	高田 裕司	(株)山崎組
副委員長	本田 浩太	共榮建設(株)
委員	北澤 和博	(株)北澤工業
〃	小室 功	(有)小室建設
〃	田中 祐紀彦	(株)田中組
〃	田辺 永茂	(株)田辺建設
〃	山崎 嘉寛	(有)山崎秀
〃	吉原 正之	吉原建設(株)

技術委員会		
委員長	田尻 正敏	(株)曙建設
副委員長	大石 保男	(株)大石組
委員	伊藤 芳也	(株)伊藤建設
〃	五十嵐 誠	(株)大久保土建
〃	勝 沼 勝弘	(株)勝沼組
〃	栗林 隆夫	共和土建(株)
〃	櫻井 正行	長岡土建工業(株)
〃	小山 道男	渡長建設(株)

(任期：平成28年5月6日から概ね2年間)

安全功労者表彰



五月二十日、長岡建設会館において開催された、平成二十八年年度建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会(田尻正敏分会長)の通常総会で、次の方々が安全功労者として表彰されました。

賞名	会社名	氏名
功労賞	(株)曙建設	親松 聡夫
	(株)田中組	諸橋 高明
	(株)山崎組	大平 司

賞名	会社名	氏名
功労賞	(株)山崎組	小笠原 信人
職長賞	(株)安藤組	諸橋 春男

協会創立七十周年記念祝賀会



(一社)長岡市電設業協会
水村二比古会長の乾杯



磯田達伸長岡市副市長



星野光雄会長



記念品を紹介する高田裕司総務委員長

七月十二日、長岡グランドホテルで協会創立七十周年記念祝賀会を開催しました。
七十周年の節目を祝い、次の十年に向かって協会の結束と発展を目指す内輪の祝賀会でしたが、華やかで楽しく、心に残るものとなりました。
物故会員への黙祷、星野会長の挨拶に続き、記念事業として長岡市へ小型除雪機を贈ることとし、目録の贈呈を行いました。
小型除雪機は、長岡市からの要望を受けて決定したもので、宮内保育園と宮本保育園で冬の除雪対策として活用されます。
続いて、磯田長岡市副市長から、協会への期待を込めた祝辞をいただき祝宴へ。
都ひばりさんのお笑い演歌ものまねや安藤栄治さんの日本万歳獅子舞で、お祝いの席は大変盛り上がりしました。



(撮影 総務委員会 田中祐紀彦委員)



長岡管工事業協同組合
金内義久理事長の三本締め



司会 総務委員会小室功委員と
アシスタントの桑原和未さん



平成28年度表彰（感謝状）受賞者

二〇四五年問題

（株）川上建業 川上佳晃

昨年の新年早々NHKが目玉ドキュメンタリーとして「next world」というシンギュラリティ（二〇四五年問題）とそれに伴う社会の変化を特集した番組が放送される一年ほど前だろうか。わたしが本件に興味を持ち、今尚情報を追い続けている「この先の未来」を皆さんはどのように考えているでしょうか？

先に出てきたシンギュラリティとはグーグルの最高開発責任者レイ・カーツワイル氏が提示した（発明したのは某数学者）技術的特異点を指す。昔から現在までの時代と共に技術の進化のスピードを計算していくと「あと三十年でコンピュータが人間を超える時代が来る」ということをグーグルの最高開発責任者が述べている。コンピュータが人間を超える時代二〇四五年問題。シンギュラリティであり、「人類最後の発明が最初の人工知能型ロボットを開発すること」であり、ここが技術的

特異点（シンギュラリティ）と呼ばれるポイントなのです。

グーグル社は今から三年前の時点でグーグル検索エンジンにはすでに三十兆ページのwebページがインデックスされており（更に五年前には一兆ページだった）が五年前で三十倍に増えている。今現在は何十倍にも増えていること（しょう）三十兆のwebページから検索したいキーワード一つをわずかに一秒ほどで参照させてしまうという、もはや知能というものを「情報を学習して記憶し自ら考えて答えを出す能力」と定義するならば、情報量（知識量）の時点では既にコンピュータは人間を超えていると言えます。コンピュータの進化は直線的ではなく指数的で、一、二、三、四、五と三十カウントすると人は三十歩進むことが出来ますがこれは直線的で、コンピュータは三十カウントの間に二、四、八、一六と三十カウント後に十億に達する速度で指数的進化を成します。十八ヶ月でコンピュータの計算能力が二倍になるというムーアの法則というものがあります。パソコンの発明から約七十年、世の中に普及し出し

て約三十年が経ちます。元々は真空管型から始まりトランジスタ型、ICチップ型とムーアの法則に乗って時代と共に指数的進化を続けるコンピュータは小型化されていつています。二人に一人は持っているスマートフォン。これはもはや携帯電話であり携帯パソコンとも言えるでしょう。更に進化し続ける携帯電話はやがてチップ化され、脳内に埋め込まれ会話はもちろん、膨大な最新情報や検索も脳内で可能となる時代が訪れるとまで言われています。便利のようである恐ろしいですね。

小型化していくコンピュータはさらにナノサイズまでになりナノコンピュータと呼ばれる人体の血管の中に入るサイズになり、「体内病院」と言われる存在になるとまで提唱されています。体内の悪いところを修復するプログラミンされたソレが体内の血管を駆け巡るわけですから薬いらずの病院いらすなわけです。当然、寿命も延びますがこちらも便利のようで恐ろしいですね。

軍事国家の一国としてのアメリカはアメリカ国防総省の機関にDARPA（国防高等研究計画局）

があるが、それでも人工知能搭載型ロボット兵士などの開発を秘密裏に行われています。

最近で話題になった「人工知能が人類を超えた対局」でアルファ碁。将棋の世界でも電脳戦というのがありますが、こちらも人間はロボットに負けています。今後、有名な羽生棋士が挑戦する予定のようですがロボットの時代はまだ早いと、証明して欲しいですね。

今回はわたしの伝えたいことの触りに過ぎません。コンピュータの進化がムーアの法則により指数的進化を遂げている時代です。脳内チップが当たり前の世の中になり、体内病院と呼ばれるナノコンピュータが出産と同時に投入される時代が訪れるとき、恐ろしいですね。マイナバーのように全て管理されるわけですから。

